

# 新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO

3

March 2019  
No.793



旧:武石家イベント「むかし話と昔の遊び」の囲炉裏を囲んで(弥彦村)

## 4~5 特集 全国公民館セミナー参加者レポート

CONTENTS

- 2………… トピックス                   「第2回 公民館月報編集委員会開催」
- 3………… 視 点                       「潟上未来会議」 佐渡市公民館潟上分館 平成30年度分館長 庄山 忠彦  
ひ ろ ば                               「公民館は何のため！」 新発田市公民館運営審議会委員 中村 明  
掲 示 板                               「2019年度の主な会議・大会予定」
- 6………… 実践記録シリーズ           「ペアレント・トレーニング講座」 関川村公民館
- 7………… サークル交流                   「継続は力なり」(五泉市) / 「彫刻をもっと身近に」(胎内市)  
素 顔 拝 見                           星 義廣さん(魚沼市) / 松田 美佳さん(柏崎市)
- 8………… お元気ですか                   「生きる」一大正からの命を引き継いでー 燕市・杉浦小夜子さん  
ネ ッ ト ワ ー ク                      「平成30年度 第2回評議員会・第3回理事会開催」

# 第2回公民館月報編集委員会開催



平成31年2月7日(木)に新潟市中央公民館404講座室にて第2回公民館月報編集委員会を開催しました。

〈編集委員〉

- 編集長 広瀬 松司(事務局長)
- 委員 五十嵐和彦(県推進セ)
- 丸山 聖乃(上越市)
- 渡邊 善則(小千谷市)
- 岩崎 裕一(湯沢町)
- 板垣 敏幸(村上市)
- 小出 守仁(新潟市)
- 布施菜美子(新潟市)

編集委員会当日は、公務のため2人が欠席でしたが、平成31年度前期の執筆計画・特集記事、全紙面構成について意見交換が行われました。

○紙面構成では

- ・昨年11月に行われた座談会でも話題となった新コーナーについては、31年度中に1〜2回「私の失敗談」コーナー(詳細は7月に決定)を掲載する。
- ・「お元気ですか」については、4年間掲載してきたので、新企画を検討する。
- ・2020年2月で、県内30市町村から寄稿いただいた実践記録シリーズが一回り終了します。(表紙写真も同じです)
- ・新たなローテーションに入る予定である。

- ・各地域で紹介したい行事や取り組みがあったら、紹介して欲しい。
- ・今後、視点や特集に寄稿いた

だきたい人を県内外問わず、情報収集してもらいたい。

以上のような意見があり、新コーナー開始を決定しました。

検討事項については、編集委員相互の情報交換を密にしながら、7月の第1回編集委員会にて検討します。

また、公民館月報4月(794号)〜9月号(799号)の執筆担当(前期)の確認を行いました。10月号(800号)〜3月号(805号)の後期分については、7月の第1回編集委員会で検討決定いたします。

(編集長 広瀬)



公民館月報原稿執筆割当一覧

2019年4月〜9月

月号	表紙	ひろば	サークル交流	素顔拝見	お元気	実践		
2019年 4月	加茂市	南魚沼市	新潟市	阿賀町	聖籠町	粟島浦村	津南町	小千谷市
5月	燕市	十日町市	刈羽村	佐渡市	村上市	阿賀野市	三条市	出雲崎町
6月	胎内市	新潟市	上越市	柏崎市	長岡市	田上町	五泉市	妙高市
7月	阿賀野市	糸魚川市	聖籠町	新発田市	南魚沼市	弥彦村	関川村	阿賀町
8月	佐渡市	三条市	見附市	出雲崎町	加茂市	上越市	長岡市	魚沼市
9月	柏崎市	田上町	小千谷市	村上市	糸魚川市	新潟市	十日町市	湯沢町

## 「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711



# 「公民館は 何のため！」

新発田市公民館運営審議会  
委員 中村 明



定年退職し、急に時間を持て余していた頃、近所の方から苜城大学(高齢者大学)のお誘いをいただき、平成23年から受講。25年からは公民館運営審議会委員の委嘱を受け公民館の事業運営の審議に携わらせていただいています。公民館の目的は「住民のために、実際生活に即する(中略)各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与(社会教育法)とあります。公民館

は利用されなければ価値を持たないと思います。ですから、利用者側の視点に立った事業か、また何のために公民館はあるのかということとを問いながら、審議に参加していこうと努めています。「生きがい」には個人的生きがいと社会的生きがいの2種類があるといえます。高齢者の個人的欲求充足のための生きがいだけでなく、社会的生きがいの創造がより大きな喜びとなり、参加型社会の構築において重要であると考えら

れます。九州のある公民館の高齢者大学では、受講生自身がプログラムの企画と運営を行って一定の評価を受けているようです。私たち苜城大学でも昨年度の反省と本年の事業計画を受講生参画で検討する機会を持っています。受講生の主体性を尊重し、参加の意味や社会的役割を自覚できる学習機会をもてること、地域に積極的に関わることに生きがいを感ずる「社会的生きがい」へと導いていくのではないかと思います。

# 視点



佐渡市公民館潟上分館  
平成30年度分館長 庄山 忠彦

## 「潟上未来会議」

潟上集落は、両津港から車で10分ほどの位置にある戸数約170戸、人口約400人の集落です。他の集落と同様、高齢化・少子化が進んでいます。そんな集落を何とか活性化できないかと、集落有志や集落役員で立ち上げられたのが「潟上未来会議」です。その活動の様子を紹介します。

まず最初に取り組んだのは、集落の人たちが集まること。最初の会議のテーマは、「集落の過去・現在・未来を語ろう」でした。約60人の参加を得て開催されました。昔の写真を見ながら高齢者から話を聞き、若者(?)が現在の潟上の魅力を語りました。集落活性化のために何ができそうかの相談もされました。その中で、「佐渡トキマラソン」での私設エイドステーション、「潟上米を東京でPR」「子どもの遊び場作り」などの提案がなされました。

その後、会議の役員で幾度か打合せをもち、実行計画を練りました。「私設エイド」は、お母さん方がおにぎりを握り、若者が鬼太鼓を披露してランナーを応援しました。「子どもの遊び場」は、夏休みに竹馬やボルダリングで楽しみました。



「潟上米」は、「潟上米コンテスト」を実施して、その魅力を確かめました。次年度は、集落に近い加茂湖でのカヤックなどの案も出ています。たくさんの方が参加して元気になってくれることを願っています。

## 掲示板 HOT NEWS

## 2019年度の主な会議・大会予定

### 「役員会」

- 1 評議員会
  - 第1回 2019年5月17日(金)新潟市・午後
  - 第2回 2020年2月12日(水)新潟市・午後
- 2 理事会
  - 第1回 2019年5月17日(金)新潟市・午前
  - 第2回 2019年6月7日(金)新潟市・午前
  - 第3回 2020年2月12日(水)新潟市・午前
- 3 監事会 2019年5月8日(水)新潟市・午後

- 4 月報編集委員会 7月、2月 新潟市・午後
  - 5 県公民館大会
    - 2019年7月19日(金)新発田市文化会館
  - 6 全国大会・関プロ大会
    - 2019年8月22日(木)~8月23日(金)栃木県宇都宮市
  - 7 全国公民館セミナー
    - 2020年1月 国立オリンピック記念青少年総合センター
- ※開催日、会場は予定です。公民館月報4月号に詳細を再掲載します。

# 特集

## 全国公民館セミナー参加者レポート

「第30回全国公民館セミナー」が平成31年1月30日(水)～2月1日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に行われました。

あたらしい「公民館」をさぐる。一人が集まる。あたらしい公民館のつくりかたをテーマに全国でも先進的な取り組みを行っている「公民館」や「公民館的な活動」を取り上げ、「人が自然に集まるような公民館にするためには、どのような仕組みづくりをしたらよいか」を考える2泊3日の研修でした。

### ○研修内容

#### ・トークセッション

テーマ「もっと人が集まる公民館を！」

牧野 篤×出野紀子「コミニ

ニティーデザイナー

テーマ「公民館の可能性とグローバル化」

牧野 篤×南信之介那覇

市繁多川公民館長

テーマ「これからの公民館の在り方」

牧野 篤×文部科学省地域学習推進課長

#### ・集中講義

「公民館を地域づくりの基盤に」

牧野 篤 東京大学教授



#### ・ワークショップ

「人が集まりたくなる公民館運営のしかた」

オスカールお笑い公民館ライブ!

優良公民館に学ぶ! 「人が集まる」公民館運営

コーディネーター...

バーゲンセール(お笑い芸人)、村上英己(全公連)

田中典子 福井市社北公民館主事

河内ひとみ 大竹市玖波公民館主事

宮城 潤 那覇市若狭公民館館長



### 全国公民館セミナーに参加して

新潟市白根地区公民館 高森 則行

私は、4月から異動で白根地区公民館に勤務しております。公民館勤務は生涯でも初めてのことで、今回は勉強のために全国公民館セミナーに参加してきました。

新しい公民館像をさぐる「人が集まるこれからの公民館のつくりかた」が、今回のセミナーのテーマでしたが、全国の優良な公民館の話聞いて率直な感想としては「衝撃を受けた」この一言です。ここまで公民館がするののかと。公民館に関わる方の熱意に圧倒されてしまいました。

公民館の運営にも、直営や指定管理者制度などで違いがあると思いますが、優良公民館に共通していることは、地域と公民館がとても協力的で友好関係にあると思います。そして、こうした友好関係を作るために、公民館が地域に向き、地域の声を聞いて、そして努力をされてきたのだと感じました。

セミナーを通じて、ある講師の方がおっしゃった一言がとても印象に残りました。「地域を良くする、地域のニーズに応えるには、公民館が変わること」今後の職務を遂行するうえで、とても貴重で、有意義な時間を過ごせました。

## 公民館は地域づくりの「底支え」

新潟市新潟地区公民館 小出 守仁

3日間のセミナーを通じて、印象的だったのは、「みんなが、ぼやっと繋がって、関心を持ち合う」間(あいだ)が『はぎま』を埋める。そのために、公民館を社会の中に埋め込み、一般行政を社会教育的に使いこなす。サービスの提供だけではなく、住民ができることはどんどん住民にやってもらう。公民館はそれを支える。これからは地域づくりの基盤としての公民館へ変わっていく必要がある。」という牧野教授の言葉。「一般行政が専門化すればするほど、その『はぎま』に落ち込む子どもや住民が増加し、社会から見えなくなってしまう。これを防ぐために、一人に対して様々なセーフティネットが多重にかかわるようにならなければなりません。」

これからの公民館は「地域活動の真ん中」で、住民がお互いにかかわりながら地域づくりを進められるよう人材を育成するなどして、『はぎま』を埋め、地域づくりの「底支え」となっていく必要があります。

残念ながら、新潟地区公民館はそこまでのことはできていません。では、具体的にどんなことをすればいいのか。これは地域性によるところが多く、事例発表された方々の活動をそっくり真似することは難しいと思いますが、「これならはげめるのでは?」とこのころから始められればと思います。

最後に、県公連をはじめ、セミナー参加の機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 「Co-Minkan」の可能性

新潟市石山地区公民館 杉山 茂一

このたび、県生涯学習協会の支援をいただいてセミナーに参加させていただきました。その中で「Co-Minkan」の取組みがとても印象的だったので概要を報告します。

公民館の歴史や実践に感銘を受けたコミュニティデザイナーの出野紀子さんが、2017年に友人2人とCo-Minkan普及実行委員会を立ち上げ、全国に私設公民館を広めるという取組みです。

何でもみんなですやってみるといって可能性志向で創造・実践するCo-Minkanは、自宅や近所の空き家等を地域の人に開放してまちの茶の間をつくる取組みです。

普段地域の人から自宅を開放したい、空き家を何とかしたいという話を聞いていた私にとって、この「Co-Minkan」がまちづくりや地域の支え合いにとって大きな可能性を秘めているように思えました。

「Co-Minkan」の開設支援や地域の「Co-Minkan」交流事業など、公民館発の「公・民間」的アプローチにより、公民館へ行けない高齢者や公民館の事業をなかなか届けられない地域・人々にとって、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるきっかけになるのではないかと、またその可能性についても深く考えてみたいと思いました。

\*「Co-Minkan」:「Co-Minkan普及実行委員会」の支援で立ち上げた私設公民館。

「Co-民間」私たち(民間)みんなと一緒にという意味や、「公・民間」行政と民間との協働でという意味も含む。

## 全国公民館セミナーに参加して

上越市中央公民館 丸田 康徳

社会教育課に配属になり1年目。社会教育、公民館についての知識も経験も乏しい私にとっては、自分をステップアップさせる良い機会だと思っ(面、「どんなことをするのだろうか?」)と少し緊張と不安を抱えながら東京の会場へ向かった。

今年はお笑い芸人の「バーゲンセール」のお2人が司会を担当されたこともあり、にぎやかな雰囲気の中、開校式が始まり、時間が経過するにつれ少しずつ緊張もほぐれていった。

今回のセミナーでは「新しい公民館像をさぐる」人が集まるこれからの公民館の「つくりかた」をテーマに、全国で先進的な取り組みをされている公民館等の事例を聞くことが出来た。その中で私が感じたことについて述べたいと思う。

それらの地域も人口減少や少子高齢化が進み、また、地域コミュニティが衰退するなどの問題を抱える中で、地域の実態に応じた学習と活動を結び付け、上手く地域づくりにつなげていたことである。これからの公民館に求められることは、住民が行政に頼りすぎず、地域住民みずからが担い手として地域運営に関われるようなきつかけづくりをしていくことが重要であると感じた。

まだまだ、駆け出しの私にとって、まずは、地域に目を向け地域に入り、ネットワークを広げることから少しずつ始めてみようと思った。

また、今回のセミナーを通じ全国の公民館職員と、公民館の現状や地域課題などについて意見交換ができたことも貴重な経験になった。

# 実践記録シリーズ

## 252 ペアレント・トレーニング講座

関川村公民館

関川村公民館では、平成29年度から家庭教育講座のひとつとして『子育てお悩み解消セミナー』ペアレント・トレーニング講座を開催しています。

親と子どもの間のよりよいやりとりを具体的に学ぶ講座です。

**NPO法人『ニコスタ』とのコラボで…**

ペアレント・トレーニング講座は、お隣の村上市では先行して実施されていたもの。村上市内の子育てに悩みを持つ親を支援するNPOと連携した活動を行っているNPO法人『ニコスタ』（代表理事・鈴木久子さん）の呼びかけでスタートしたものです。

平成29年度は指導的立場の人たちを対象に5回、保護者を対象に5回のシリーズで、平成30年度は保護者（おおむね4歳から10歳までの子どもの保護者）を対象に10回シリーズで開催しています。

**講師の話聞くだけではなく…**

今年度の講座の第1回は厚生連村上病院の小児科医師・和田有子さんを講師にお招きし



て子育て講演会「発達障害の理解とペアレント・トレーニング」

として開催。2回目以降

は、具体的に子どもたちのかかわりかた、例えば「子どもたちの好ましくない行動を減らす」

「子どもの協力を増やす方法」などをテーマに、資料を使いながらポイントを学習、参加者でロールプレイを行い、学習やロールプレイで感じたことなどを話し合う…という流れで開催しています。2回目からは、鈴木代表理事と小澤里美理事に講師をお願いしています。

**今年度は定員に満たず…**

出来るだけ参加者が打ち解けてロールプレイや話し合いができるように、2回目以降の参



加定員は8名としました。（第1回の講演会は、定員なし。）

参加された方からは概ね高い評価をいただいている講座ですが、今年度は残念ながら定員割れの状況です。設定した日程、曜日や時間帯が合わず、参加したくても参加できない…そんな声も聞かれました。

**ニーズを的確にとらえること…**

これまで公民館で家庭教育講座を企画しても、なかなか参加者が集まらない…という悩みがありました。漠然とした「子育て」という視点ではなく、具体的にテーマを絞った、子育て真っ最中の人のニーズを的確にとらえた講座の企画、そして参加しやすい曜日や時間帯などを摸索していきたいと思えます。



関川村教育課生涯学習班 稲家 誠



継続は力なり

バレトン・ソールシンセセス

バレトン・ソールシンセセス。ほとんどの方は、聞き馴染みがな... と思います。

2000年にアメリカで、バレエとピラティスから考案された。1つのエクササイズの中で... 今年で5年目となりました。毎週火曜日に活動し(年30回)今年度は18名の方に参加いただい



ています。「とにかく汗がかけられるので気持ちがいい」「体力・筋力が... になった」と喜びの声をたくさんいただいています。

いつまでも心と体の健康を持続し更に、強さとしなやかさ美しさを保ち、そして何より楽しみなからこれからも活動していきたいと思... 五泉市バレトン・ソールシンセセス 金子美樹子 記

彫刻をもっと身近に

彫刻講座

講座が始まって、今年で7年目になります。黒川地区公民館で、5月から7月までの毎週金曜日の午後7時から9時の2時間。指導者は、飯塚清先生。会員は、30代から70代までの男女あわせて7名。粘土で制作し、焼きあ... げるテラコッタです。



胎内市・彫刻講座 代表 石山 令子 記

きっかけは、彫刻人口が少なく、このままでは、絶えてしまうのではないかと危惧感からです。市の協力もあり、講座を開... 設することができました。

自分が制作する写真を持ちより活動開始です。犬、猫、お孫さん、娘さん、自分、古代の人、仏像、七きお母様などなど、「立体は難しい。」と言いつつも熱心に制作に取り組み、あつという間の2時間です。試行錯誤しながらの3か月。完成した作品は、どれも素晴らしい、皆さん本... 当にうれしそうです。

作品の発表の場として、胎内市の美術展、さらに、芸展にも出品する人もでてきました。これからも、彫刻を身近に感じ、楽しく制作できる講座として続けていければと思っ... ています。

柏崎市 文化・生涯学習課 企画管理係 主事 松田 美佳さん



平成28年4月に市民プラザ内の生涯学習課(現在の文化・生涯学習課)へ新採用として配属となりました松田美佳さんを紹介... します。

配属されてからは、課の庶務の他に職員等が講師になり地域で講座を実施する「ふれあい講座」や、社会教育団体等の発表と交流の場として開催している「マナビステージ」の事務局などの業務を担当しています。

いつも明るく、誠実で、よく気が付き、そしてとても頑張り屋(努力家)だと思っています。

毎年11月に開催するマナビステージは2日間行われるのですが、今年度は事務局だけでなく、バンドを結成しドラマーとしても参加し、観覧者からも手拍子があるほど好評でした。当日は、全3曲の披露でしたが、本格的に練習を始めたのは7月からとのこと。今までにドラムを叩いた経験がなく、まったくの初心者、わずか4か月で3曲もマスターするには、かなりの練習が必要だと思... います。

これからも柏崎の生涯学習の発展に向け、益々の活躍を期待しています。

(柏崎公民館 押見 敏 記)

魚沼市湯之谷公民館 館長 星 義廣さん



館長に就任して今年度で4年目の、自慢の星館長をご紹介します。

館長を知る多くの方が、館長と言えば、「山・お酒・写真・ガイド」をイメージすると思います。尾瀬認定ガイドの資格を持ち、長年、山岳写真を撮影し、個展も開き、市展をはじめとした多くのコンテストで入賞・入選を果たしています。数年前には、写真集も出版されました。お酒も大好きで、館長を囲んで飲むお酒は、つつい飲みすぎてしまいます。

また、地域の事をはじめ、とても博識な方で、人望も厚い方です。だからこそ、円滑に業務を遂行できるのだと思っています。当初、存在が薄かった湯之谷公民館を、ここまで押し上げていただいたのも、星館長だからだと思っています。いつも笑顔でアクティブな星館長。お身体にはお気を付けくださいね。

(魚沼市湯之谷公民館 主事 仲丸 律子 記)

素顔拝見

ネットワーク

平成30年度 第2回評議員会・第3回理事会開催

平成31年2月13日(水)新潟市中央公民館で、今年度の総括と来年度の事業計画を協議する理事会、評議員会が開催されました。

- 1 会務報告
- 2 決算見込み
- 3 来年度事業計画・予算
- 4 来年度県大会概要



- 5 当面の課題について  
などが協議され、承認されました。
- 当面の課題を解決するために負担金見直し検討委員会は



継続することや県大会や公民館月報の今後について2019年に十分に検討するためにアンケートを実施することも決定されました。

お元気ですか

杉浦小夜子 (燕市)



教わることが出来た。感謝!!  
今は、水野先生に付いて学んでいる。

「生きる」  
—大正からの命を引き継いで—

6年を残して退職。両親の介護と同時進行だったが、時間に縛られる事のない夢のような生活がスタートした。現役時代とは全く違った方向を模索した。

母がやっていた茶道(石州流)入門。続いて吉田公民館「煎茶教室(小川流)」。「生花教室(池坊)」に入会した。始めは全く手探りだったが、次第に先生との関わり、教室で知り合った仲間との触れ合いの

中で知る喜びに満ち、充実した日々となった。  
7年が経つ頃には、両親が他界し、親という大きな支柱を失った。然し私は第二の人生をスタート出来ていた事を本当によかつたと思っている。私には、新たな生きる上での師が2人もいる状態だったから。

茶道では、母の師だった遠藤ヤン先生に和敬静叙の精神の基にしっかりと茶道の基礎を

煎茶と生花の教室に於ては、田村イツ先生にお習いし、会計や副委員長の仕事も経験させて頂いた。地元でのお稽古だった事もあつて、習い事を越えた人生の師としての個人的なお付き合いを戴いた。つい先日、永久の別れとなった。

お二人の先生方は、大正14年生まれ。そして私の母も。これからは、教わった事を糧に地に足をつけて更なる精進をしたい。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

大切な子どもたちのために

日本の将来を担う大切な子どもたちや、地域住民の安全を確保するため、公立学校施設の耐震化・防災機能強化を推進しています。

新潟県公立学校施設整備促進期成会

会長 (出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

編集後記

今月号で30年度公民館月報も最終号を迎えました。これまで多くの皆様からご寄稿頂き、編集長として心より感謝申し上げます。各市町村から担当して頂いた「素顔拝見」や「サークル交流はたいへん好評でした。また、表紙と実践記録シリーズは、来年度の後半で30市町村一週り

が終了します。特に実践記録シリーズは、市町村の地域性を生かした取組は今後の公民館活動の参考になったものが多いので、今後とも公民館活動に役立つ情報を発信できるように努めていきたいと思っています。よろしくお願いたします。(広瀬)